

# 保存版 わが家の防災マップ



このマップを活用して、安全確保の準備をしましょう。いざという時のために災害へ備えましょう。



## 確認しましょう!

- ### 防災情報マップの使い方
- 使い方1** 各マップ上で自宅を探しましょう。
  - 使い方2** 災害が発生するおそれがある区域内に入っているか確認しましょう。
  - 使い方3** 各マップにある避難行動確認フローで災害時における自身の避難行動を確認しましょう。
  - 使い方4** 実際に避難所まで歩いたり、危険箇所のチェックをおこなしましょう。避難所までの複数経路を設定しておきましょう。

**どんなときにどのマップを見たいの?**  
 大雨に備えるとき: 土砂災害防災情報マップ、洪水防災情報マップ  
 台風によるとき: 土砂災害防災情報マップ、洪水防災情報マップ、高潮防災情報マップ  
 地震に備えるとき: 土砂災害防災情報マップ、津波防災情報マップ

### 芦屋市の災害時連絡先

令和6年7月時点

#### 避難所の設置状況や避難情報の防災関係について

**0797-38-2099** (平時はつながりません)

---

**水道** 0797-38-2082  
 [平日(9時~17時30分) ※土曜・日曜・祝日・年末年始を除く]  
 (上記時間以外) 0797-31-2121

**電気** 0800-777-3081

**ガス** 0120-7-19424

**警察** 0797-23-0110

**消防** 0797-32-2345

- ### 災害時の避難場所(集合場所)や連絡先について確認しましょう
- 大雨や台風の際、自宅からの避難が必要なか、在宅避難が可能なかを確認した
  - 地震で津波が発生した際、自宅からの避難が必要なか、在宅避難が可能なかを確認した
  - 外出時に地震で津波が発生した際の避難場所を確認した
  - 外出時に地震で津波が発生した際の家族や大切な人との集合場所を確認した
  - 家族や大切な人との連絡先や連絡手段を確認した
- 場合によっては、学校や会社など、家族や大切な人が通う場所にいるときに災害が起こる可能性があります。

### 災害用伝言サービスの使い方

#### 災害用伝言ダイヤル171

……伝言を録音・再生します

インターネットから <https://www.web171.jp> にアクセス

伝言を書く → 被災地にいる人の電話番号を入力して「登録」を選択、文字による伝言を入力する

伝言を見る → 被災地にいる人の電話番号を入力して「確認」を選択、画面の指示に従って伝言を見る

## 大雨を知る

### 雨の強さと降り方

1時間雨量	10~20ミリ やや強い雨	20~30ミリ 強い雨	30~50ミリ 激しい雨	50~80ミリ 非常に激しい雨	80ミリ 猛烈な雨
人への影響	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をささしてもぬれる	傘をさしてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる	
災害発生状況	長く続く時は注意が必要。	側溝や小さな川があふれる場合がある。	崖崩れが起きやすくなり土砂災害の危険区域では避難の準備が必要。	土石流が起こりやすくなり、多くの災害が発生するおそれがあり、警戒が必要。	雨による大規模な災害の発生するおそれがあり、警戒が必要。

**集中豪雨の危険を知っておこう**

短時間で危険な水位になる

地下街や半地下住宅は危険

下水の排水能力を超える大雨

地下・機械式駐車場は水が流れ込む



## 洪水を知る

### 洪水(外水氾濫)

洪水(外水氾濫)は、河川の増水により堤防から水が溢れまたは決壊して起こります。洪水が発生すると広い範囲が浸水して、大きな被害が発生するおそれがあるので注意が必要です。

大雨によって川の水が増え、水かさが増え始めます。

堤防がいっぱいまで水が増え、堤防に水の圧力がかかり始めます。

水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。

崩れた場所は一気に溢れ、家などに浸りかかります。

### 内水氾濫

内水氾濫は、短時間の大雨によって下水道施設や水路などの排水能力を上回った場合や、川の水位が高く放流できない場合にマンホールや雨水ますなどから水が溢れて起こる浸水です。

### 「洪水」気になるQ&A

**Q** この前の大雨のときにマンホールから水があふれて浸水が起こっていたよ! 洪水ってこんなに頻りに発生しているの?

**A** 降った雨を排水処理できずに、下水道や水路から水があふれて起こる浸水は内水氾濫です。洪水(外水氾濫)と比べて、浸水規模は小さいですが、いたるところで発生する可能性があります。

※内水氾濫について、詳細は下水道課(TEL.0797-38-2064)まで

**Q** 平成30年台風第21号での宮川からの浸水の原因はなに?

**A** 高潮・高波によるものです。台風を原因として発生する高潮は、沿岸部だけでなく、川を遡上して浸水を起こす場合があります。

## 防災情報の入手方法

大規模地震や風水害などの災害発生時に、芦屋市ホームページやメールサービス、防災行政無線など、さまざまな広報手段により、住民の皆さんに防災に関する情報を発信しています。

### あしや防災ネット

皆さんの携帯電話やパソコンに災害情報等に関する緊急情報をメールでお届けします。登録料は無料です。

※登録の際の通信料とメール送受信、インターネット閲覧などにかかる費用は、別途がかかります。

#### 登録方法

- ashiya@bosai.netに空メールを送信、または、QRコードを読み取り、空メールを送信  
※メール本文の内容は修正しないでください。
- 情報メール登録URLを記載したメールが届く  
※メールが届かない場合、受信設定を確認してください。(URL付きメールおよび「bosai.net」のドメインを受信許可)
- 利用規約を読む
- 登録  
※メールに記載された登録URLにアクセスすると登録が完了します。
- 登録完了画面表示
- 完了メールを受信 ※登録完了のメールが届きます。

### スマホ版「ひょうご防災ネット」

「ひょうご防災ネット」は兵庫県および兵庫県内の市・町から「避難に関する情報」などの緊急情報や、地震、津波、気象警報などの防災に関する様々な情報を利用者の方々に提供するサービスです。いつ発生するかわからない災害に備え、アプリをダウンロードしてください。

QRコードを読み取ってダウンロードしてください。または、[App Store][Google Play]で「ひょうご防災」を検索してください。

Android iOS

### 芦屋市Web版防災情報マップ

パソコンやスマートフォンから簡単にハザードや避難所等が閲覧できます。

- 紙版と同じ情報を閲覧可能!
- 住所検索・航空写真への切り替えが可能!
- 4か国語に対応 日本・英語・中国語・韓国語

### 動画で解説! 防災情報マップの使い方

地元の小学生(芦屋ノエ)と防災情報マップについて教えてくれるキャラクター「ハザまる」が登場し、防災情報マップの使い方を解説します。

### 芦屋市ホームページ「防災・減災情報」

芦屋市ホームページでは、災害時の備えを紹介しています。芦屋市ホームページ「もしものときに」の「防災・減災情報」をご活用ください。

## その他参考にできる情報

パソコンで検索される方は、知りたい情報のタイトルで検索してください。

- 気象庁ホームページ** (QRコード)
- 川の防災情報ホームページ** (QRコード)
- 阪急電鉄運行情報** (QRコード)
- JR西日本列車運行情報** (QRコード)
- 阪神電車運行情報** (QRコード)
- 阪急バス運行情報** (QRコード)
- 芦有ドライブウェイ** (QRコード)
- 兵庫県道路情報** (QRコード)
- 大阪ガス供給停止状況** (QRコード)
- 関西電力停電情報** (QRコード)
- テレビ・JCOM** (QRコード)
- 兵庫県CGハザードマップ** (QRコード)

## 高潮を知る

### 高潮の発生と仕組み

台風や発達した低気圧が原因で発生し、気圧の低下による吸い上げ効果や強風による吹き寄せ効果により、海面が異常に上昇する現象です。

高波が加わるとさらに海面が上昇します。

芦屋市では、宮川等の河川を遡上して沿岸部以外にも浸水被害発生のおそれがあります。

#### 高潮発生要因

- 台風や低気圧が接近して気圧が低くなって起こる「吸い上げ効果」
- 台風に伴う風が原因で起こる「吹き寄せ効果」

通常の潮位(天文潮位)と高潮の差を「高潮イラスト」(気象庁ホームページより)で見ることができます。

高潮の最盛期には暴風や豪雨も伴うので、避難することが危険になります。気象情報を確認し、安全に行動できるように避難することが何より大切です。

### 過去の高潮被害

**【昭和25年・ジェーン台風】**  
 昭和25年9月に近畿・中国・四国・北陸にジェーン台風が襲来し、芦屋市でも多大な被害を被りました。

芦屋市被害: 建物全壊流出45戸、建物半壊流出35戸、建物浸水1,550戸

**【昭和36年・第2室戸台風】**  
 昭和36年9月に上陸し、近畿を中心に死者194人、行方不明者8名、被害家屋40万戸以上などの被害がありました。

芦屋市被害: 建物全壊流出2戸、建物浸水736戸

**【平成30年・台風21号】**  
 被害があったのは、南芦屋地区内の浪風川、南浜町、宮川沿いの興川町、西蔵町など。南芦屋地区では、高波と高潮で海水が遡上り、市内の家屋の浸水被害は、計300件に上りました。

芦屋市被害: 建物浸水(床上)28戸、建物浸水(床下)272戸等

## 警戒レベルと避難行動

### 警戒レベルとは

「災害発生危険」と「取るべき行動」を直感的に理解するための情報です。防災気象情報や避難情報等を5段階のレベルで表現しています。避難情報が発令された地域にお住まいの方に避難行動を呼びかけます。

警戒レベル	状況	避難情報等	あなたがとるべき避難行動
警戒レベル1	今後気象状況の悪化のおそれ	早期注意情報 気象庁が発表	災害への心構えを高めましょう。
警戒レベル2	気象状況の悪化	大雨注意報 高潮注意報 洪水注意報等 気象庁が発表	自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル3	災害のおそれあり	高齢者等避難 気象庁が発表	危険な場所から高齢者等は避難
警戒レベル4	災害のおそれ高い	避難指示 気象庁が発表	危険な場所から全員避難
警戒レベル5	災害発生または切迫	緊急安全確保 芦屋市が発令	命の危険直ちに安全確保!

**「警戒レベル4までに必ず避難」**

「避難情報」や「避難所開設情報」について、複数の手段で発信します。自ら情報を取り、**警戒レベル3や警戒レベル4が発令されたら、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。**

芦屋市周辺で発令されている注意報・警報を確認しましょう

気象庁ホームページ 気象警報・注意報